

182mm

「できた!」を通して子供達が自信を持って欲しい。

予算は?公園遊具は?介護予防は?

かけっこ教室 開催!

プロの指導により遊び感覚で子供の運動能力向上をはかります。ご希望の方は下記連絡先まで。

5月21日(土)
1部:10時00分~ 清高小学校
(西取石8-5-1)
2部:13時00分~ 高石小学校
(高師浜3-19-17)
※1時間半ほどを予定しています

参加費:500円※インストラクター代など
連絡先:gavhattan@hotmail.com
072-263-0522※携帯に繋がります
主催:かけっこ教室実行委員会
先着順(各校25名) 市内在住小学生対象
協力:Total sports (http://t-sports.jp/)

高志会 二瓶貴博・松本善弘 永山誠・畑中政昭 市政報告会

5月15日(日)10時~12時
新家自治会館
(取石4-13-2)

5月22日(日)10時~12時
清高公民館
(綾園6-5-10)

5月22日(日)14時~16時
千代田公民館
(千代田1-4-15)

組織マネジメント、市民との協働まちづくり、まちのブランド戦略、地方創生・・・

美濃加茂市へ インターン合宿。

同志でもあり尊敬している藤井浩人、美濃加茂市長と→

以前、大学生をインターンとして受け入れていましたが、今回は私が研修生という立場で岐阜県は美濃加茂市に2泊3日で行って来ました。職員との打ち合わせ、指示の出し方、コミュニケーションの取り方、政策判断の基準、多忙を極める公務における時間の使い方、市役所外での渉外など、ネットや資料では理解できない肌感覚での理解が必要とされるものをたくさん学ぶことが出来ました。

なかでも、意思決定の早さとその後のきめ細かいフォロー、それを現場で実務している職員の躍動感が素晴らしく、見るものすべてが刺激的で、そして少し悔しい気持ちを抱きました。

短い期間でしたが地元にいるだけでは体験できない「気付き」を多くいただき、高石市に活かしてまいります。



●昭和56年生(35才)高石小、高南中、桃山学院高校、近畿大学経営学科卒。学生時代、カンボジアで現地の意識の高い若者との交流で、自身も含めた「日本の若者」に危機感を覚え、政治に関心をもつ。高石合併選挙後、自分の街の行く末を憂い立候補。●羽衣3-4-16/Tel:072-263-0522/fax:0723-50-0857/mail:gavhattan@hotmail.com
●デザインから印刷作業まで業者に任せず自分で作成しています。気持ちを込めたいからです。そんな私の分身である「日進月歩」は拙い部分もありますが、せめて読み終わってから古紙回収箱に連れてい行って下さると有難いです。

182mm

高石市議/3期目/無所属

市政報告機関紙

日進月歩 No.20
平成28年04月

畑中政昭

は た な か ま さ あ き

記号化された判断は思考停止につながります

まっすぐ是々非々。

「〇〇派」という考え方が政治を歪めています。

ときおり、「日教組がやってるからダメ」とか「自民党が進めているから信用できない」とか、内容の正否よりも出所や立場で全てを否定する発言を見かけますが、私はそんな枠にはめた考え方を否定します。

「いいものは是、ダメなものは非」と、政策の内容で判断しなければいけないのに、組織がどうだとか、出所がどうだとかで政策の背景や立場で判断しようとする風潮がまだ残っています。

3月議会では、その象徴的な案件がありましたので、ご紹介いたします。

発行、編集:畑中政昭

3月議会において、以下の請願が市民団体から提出されました。

「子育てのまち」高石で子どもたちが 健やかに成長できる環境を求める請願書

1. 小児救急医療など子どもが安心して利用できる医療機関について、近隣自治体とのより緊密な連携で拡充し、市民にわかりやすく広報してください。
2. 公立幼稚園での3年保育を早期に実施してください。
3. 病児・病後児保育を早期に実施・拡充してください。
4. すべての子どもの発達を保障するために、必要に応じた専門的な療育や保育・リハビリを受けられるようにしてください。

私たち「高志会」は反対する理由が見当たらないので、もちろん賛同し、請願は可決されました。

ところが、市民の方からお叱りのご意見を頂戴しました。内容は「民営化の推進や技能労務職の給与適正化など、組合の職域に踏み込んだ質問してる畑

中さんが、なぜ組合の肩をもつのか？」というもの。ご指摘どおり、たしかに労働組合関係の方々が署名をされていました。

私の訴えてきた政策をキチンと読んでくれて、共感を抱いてくれていたのに落胆させてしまい申し訳ないと、真摯に反省しました。

一方で、上述のような「その内容よりも背景で判断される」社会の風潮がまだまだ残っているという課題意識も同時に感じました。

地方分権が進むにつれて、これからの地方自治はますます複雑になっていきます。当然、議会も複雑な判断をしていかねばなりません。そんなときに「〇〇派だから賛成だ」と中身も吟味せずに議決されているようでは、地方自治は永遠に成長しません。恐縮ですが、これを機に、市民の皆さんにもご理解いただきたいと、私の考えを表紙に執筆させていただきました。

128.5mm

128.5mm